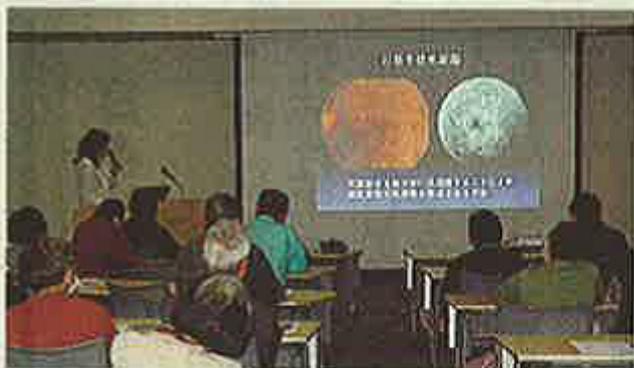


# 糖尿病検査の重要性強調

## 安曇野日赤が公開講座

安曇野市豊科の安曇野赤十字病院で26日、「症状のないまま進行



糖尿病網膜症をテーマに開かれた公開講座

する糖尿病網膜症」をテーマにした公開講座が開かれた。同病院眼科の柳平朋子医師が、糖尿病と目の合併症について原因や症状、治療などを解説し、約50人が耳を傾けた。

柳平医師は、写真や図を示しながら、糖尿病の三大合併症の一つである「糖尿病網膜症」について解説した。進行段階ごとの症状や治療法などを説明し、中程度の段階まで

はほとんど自覚症状がなく、気が付いたら進行していて、最悪の場合失明に至る可能性があることなどを説明した。早期発見が大切だと強調し、「糖尿病と目の検査は切り離せない。糖尿病で網膜症

がない人でも、1年に1回は定期検査を受けてほしい」と呼び掛けていた。

講座は同病院と、同病院の糖尿病患者の会「りんどう会」が主催した。

(萩原真一)